

事業所名 北海道クリスチャンセンター福祉会
家庭福祉相談室

公表:2023年2月1日 配布数9 回収数9

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				・活動の内容に応じてホールを借りる等空間を工夫している。 ・コロナ感染対策のため、密にならない工夫もした。 ・北大ローンなど戸外活動も取り入れながら十分に身体を使い遊べる工夫をしている。室内も身体を動かせるスペースが十分にある。	
	② 職員の配置数は適切であるか	7	2			・規定より多く配置し、親グループを実施するためのカウンセラーを配置している。 ・法的には足りていると思うが、1対1対応を原則としている相談室の現状としては足りない場合もある。 ・理想とする療育を行うためにはボランティアに頼らざるをえない	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1		1	・個々に合わせた対応をするようにしている。 ・スケジュールカードの提示、必要に応じて個人の為のカードを作成したり、絵や写真などを取り入れた明示を工夫している。	今後も個々に合わせた配慮を行っている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	9				・コロナ禍ということもあり、遊具や部屋の消毒を意識している。 ・施設の老朽化もあり、修繕しながら行っている。 ・子供に合わせた空間になるよう工夫されているが、共有スペースは思うように使えないところもあり、改善したい。 ・日々の活動後の掃除、消毒を行い、トイレは子どもの使いやすいサイズの物を設置している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9				・室長や主任が中心となり、全体で考える機会を作っている。 ・会議の中で行事の見直し、反省、工夫点を出し合うようにしている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				・保護者の意向にすべて沿うことは難しいが、スタッフ会議などでその都度話し合っ対応している。 ・同時に、事業所独自のアンケートも行い、運営についてのニーズを検討するようにしている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			1	・ホームページを活用して公開している。	会議で周知している。

	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	2		2	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない ・明確な外部の評価があったかどうかわからない。 ・今年度は、社労士さんから指導を受ける機会があったのがよかった。 	第三者委員は選定しているが、評価はしてもらっていない。評議員による助言を活用している。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・研修案内を共有し積極的に参加している。 ・いい研修があると、口頭や回覧でスタッフに知らせている。 	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・日々の話し合いも含め、携わる人たちで検討し、作成している。 ・確認票や親グループの聞き取りでニーズを聞いている。 	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・市のサポートファイルや、遠城寺、KIDSを活用している。 	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援に関しては親グループを常に実施し、事業所内でも支援の一つの項目として重視している。 ・地域支援に関しては利用児が通っている園などを訪問し、療育外での困り感や支援のニーズを把握するようにしている。 	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・常に確認できるよう工夫している。 ・一部、出席日数が少ないために計画に沿った支援が難しい児童もいた。 	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーが中心となりグループ担当で検討している 	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・今何が必要かを話し合いで情報交換している。 	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動は子どもの状況に合わせて、二人から始める等の工夫をしている。 ・事業立ち上げ当初から、プログラムが個別と集団両方を組み合わせ実施してきているため、子どもの課題としてどちらも支援計画に入れることができている。 	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフとボランティアワーカーも含め、その日のプログラムのねらいや個人の課題、前回からの経過を共通認識し、療育を行っている。 	今後も継続して取り組んでいく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・グループ前後の打ち合わせを毎回必ず行っている。 	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・支援当日にその日の狙いに対する参加の様子や、生活や遊び等の取り組みの様子を記述し、それをもとに支援計画を作成している。 	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との面談は丁寧に行われていると思う。 ・6カ月ごとに支援計画の立案－評価－再評価を実施し、その都度変化と残された課題を検証し、見直している。 		
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は担当者会議はなかった。 ・機会がなかった。 	会議があった場合には、担当のスタッフやカウンセラー複数名で参加するようにしている。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1			<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、ちくたく、医療機関など連携している ・一部出来ていない人もいる 	個人情報保護や保護者の承諾を大切にしながら連携していく。

⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか						
㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	1			・保育所等訪問支援事業で園訪問や引継ぎを行っている。 ・移行支援というよりは、入園してから園訪問で情報共有している。	・利用児が幼稚園などに入園する際に、保護者の了承を得てから総合所見を園と共有する等、情報共有を行っている。
㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			1	・年長児は就学先に出向いて引継ぎを行っている。 ・保護者の了承を得て、学校との引継ぎを行っている。	保護者のニーズも高く、重要性も感じている。資料の工夫もしていきながら今後生きる引継ぎを行っていきたい。
㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1			・保健センター等と連携している。 ・リタリコの研修はこれに当たるのか？ ・必要に応じて行っている。 ・支援者会議に参加したり、各種専門機関の研修にできる限り参加するよう努力している。また、文章を通しての連携や、医療機関にも必要に応じてコンタクトを取るようになっている。	
㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8		1		・今年度は未就園児クラスで、同法人の保育園と交流を行った。	親への配慮や、園に通っている利用児が多くなっていることを考慮し、交流の必要性や実施の検討は丁寧に考えていく。
㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	4	2	2	・必要性を感じているが、時間の都合が合わない。 ・ここ2、3年は会議自体が行われていないので参加が難しい。個々に興味のある会議等に出席している。	案内が出ている時にはスタッフ間で確認できるようにしていく。
㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9				・毎回引継ぎや、親グループで情報共有を行っている	
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	1			・親グループは実施しているがどちらともいえない ・ペアレントトレーニングとは言っていないが、親の話を聞いてともに考え助言したりしているため、この役割をはたしている。 ・長期休みの時に親子で参加するプログラムを行っている。	
㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				・契約の際に行っている	
㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	9				・必ず個別懇談の時間を設け説明している。	

保護者への説明責任等	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・毎回療育時間内に保護者グループを行い、保護者の話を聞いている。その際に出た話をグループ終了後、スタッフ間で共有し、対応している。 ・療育前後の引継ぎを通して、その時感じていることや困っていることがあれば聞き取り、必要な時はスタッフ間で内容を共有している。 	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2			<ul style="list-style-type: none"> ・親グループ、同窓生の会、同窓会の実施 ・同窓会がその役割でしょうか？ ・同窓会や就学説明会を開いて保護者同士の連携を支援している。 	親グループが大切な役割を担っている。今後も大切にしていきたい。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーやカウンセラーが対面や電話で対応している。 ・決まった療育日や時間外であっても、可能であれば対応している。 	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・各グループ毎月のグループ通信、後援会の相談室だよりなどがある ・各グループだよりを発行し、様子や連絡事項などを知らせている。また、行事の際にお知らせを発行し、内容や注意事項等、知らせている。 	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーポリシーを配布し、年1回利用者にも確認を取っている。 	
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールのための絵カードを利用したり、外国人利用者に対しては翻訳機を活用してコミュニケーションを取ったり作成文章の内容も理解しやすくなるよう工夫している。 	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	4		<ul style="list-style-type: none"> ・例年、支援者の集いを行っていたがコロナ禍で実施できていない。 ・コロナ禍の中で、地域に開くことは難しい。 ・招待はしていないが、ボランティアの受け入れ等、地域との交流はある。 	会議内で行事の意義やねらいを再確認する。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・玄関に閲覧できるようにしている。 	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				<ul style="list-style-type: none"> グループごとに地震・火災発生時の訓練を実施している。今後、洪水を想定した備えについて準備予定である。 	
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種は確認していない。 ・毎年、年度初めに確認票に記入してもらっている。その他必要に応じて保護者から聞き取っている。 	
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	9				<ul style="list-style-type: none"> ・事前にアレルギーの有無を確認し、おやつの時、親にチェックしてもらう。 	
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1			<ul style="list-style-type: none"> ・会議や日常のカンファレンスで報告し合っている。 ・事例集としては発行していないが、事例があった時には全職員で話し合っている。 	・ヒヤリハット事例については、全職員で閲覧後、いつでも閲覧できるようファイルにまとめて保管している。

④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を実施した。 ・虐待に特化した研修は行っていないが、話し合いの時に話題にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待に特化した研修については、年度初めの会議で行っています。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	2	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時や外出時の危険行為については身体拘束の意識は職員にあると考えるが、組織的な決定はしていない。支援計画にも記載していない。 当てはまるかわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在必用と考えられるケースはないが、今後丁寧に話し合いが必要になるかもしれない。

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。